

第一学習ルーム

わかる。できる。たのしい。
自分だいすき！友だちだいすき！学校だいすき！



第一学習ルームの重点的な教育方針

- ・自力解決力をつける。（自分でできた喜びを自信につなげる）
- ・自己調整力をつける。（自分の気持ちに気付くことで気持ちの安定につなげる）
- ・コミュニケーション力をつける。（相手の話を聞く力と自分の意思を伝える力を高める）
 - ① 元気にあいさつや返事をする。
 - ② 話を最後まで聞く。
 - ③ 自分の気持ちを相手に伝える。
 - ④ 相手の気持ちを考えて行動する。
- ・学習能力の向上。（個に応じた学習によりわかる・できるを体験し、学習することを楽しむ）

☆たからぼこ☆



知

興味関心をもってまわりの人と仲良く過ごすことができる子を育てます。

徳

自分と周りの人を大切に、思いやりの心をもった子を育てます。

体

自分の安全や健康に気を付けて、元気よく過ごす子を育てます。

公

身の回りに目を向け、助け合って行動する子を育てます。

開

違いを認め、周りの人を大事にし、共に生きていく子を育てます。

【1年生として重点をおきたい教育方針】

☆何事にもすすんで取り組み、最後までやりぬこうとする子

☆人の話をよく聞き、自分の思いや考えを表現しようとする子

☆いろいろな人と自分からかかわり、自分も友達も大切にしようとする子

ぼく・わたしの体験は、

自分だけの「宝物」だよ！！

やってみたいな！まねたいな！

〇〇ができたよ！
わかったよ！もっとできそう！

自分のいいところ・友達のいいところみつけたよ！

横浜市立
洋光台第一小学校
第2学年

えがおの花を さかせよう！！

SUN フラワー



知

好奇心をもち、仲間とともに活動することを楽しめる子を育てます。

徳

自分や友だちのよいところに気づき、思いやりの心をもった子を育てます。

体

自分の健康に関心をもち、心身ともに元気に生きようとする子を育てます。

公

身近な地域に目を向け、周りの人に関心をもち、行動する子を育てます。

開

人はそれぞれ違うことに気づき、共に過ごしていこうとする子を育てます。

【2年として重点をおきたい教育方針】

😊スマイル😊

自分の好きなことや得意なことに気付いたり、学校生活の中で「できた」「わかった」という楽しみを感じたり、自己決定したりする中で、自分の思いを伝える心を育てます。

😊なんでも チャレンジ😊

「やってみよう」「がんばろう」という気持ちをもち、
自分のできることを増やして自信をもてる子を育てます

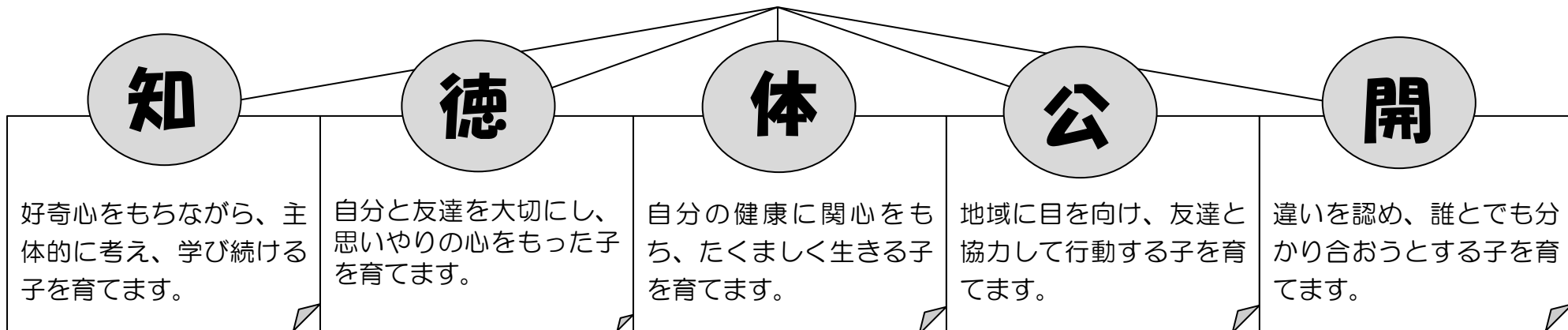
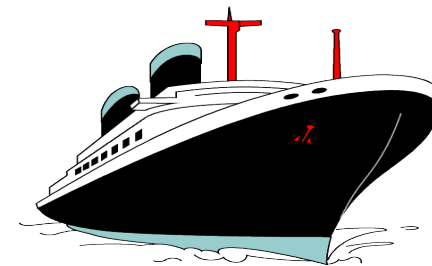
😊ともだちもじぶんも大切に😊

友だちはみな違うことを知り、その上でそれぞれのよさに気づく子を育てます。また、学級や学年という集団において、様々な意見や考えを出し合いながら合意形成を図り、一人ひとりがよさを発揮しながら、協力しようとする子を育てます。



えがおの花を さかせよう！！

2年生でできるようになったことがたくさんあるよ！友達と協力して、色々なことに挑戦できたよ！



【3年生として重点をおきたい教育方針】

⚓ 挑戦 「やってみたい」「やってみよう」「自分なら大丈夫」「助けてくれる仲間がいる」

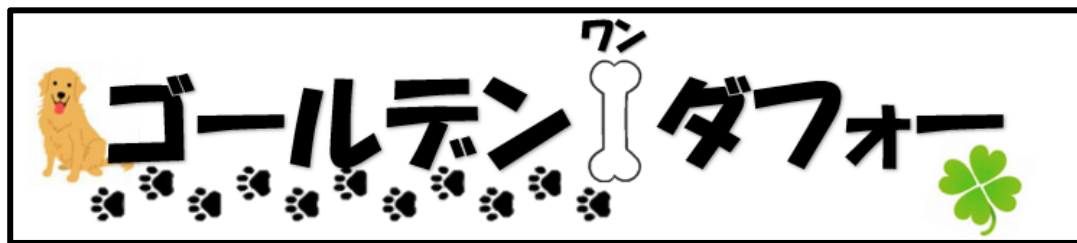
- ・新しい学習や活動に前向きな気持ちでチャレンジしたり、苦手なことに諦めず取り組んだりできるように、活動の見通しやゴールを分かりやすく提示したり、自信がもてるような励ましや支援を行ったりしていきます。

⚓ 協力 「みんなで力を合わせたら できた」「みんなちがうから おもしろい」「仲間のおかげ」

- ・相手の気持ちを考えて友達に寄り添ったり、困ったときに自分から助けを求めたりできるような環境作りや指導をします。
- ・学び合い、関わり合いを大切に、協力することのよさを体感できる経験を積み重ねていきます。

⚓ 自信 「できた」「わかった」「もっとできそう」「自分が好き」

- ・学習や生活の中で「自分で考える」「行動を振り返る」場面を設定したり、よい行動や取り組み方を共有して手本にしたりすることで、適切な行動や取り組み方を選びながら、より一層高め合える学年集団を目指します。
- ・教科分担制や算数のT・T指導、専科の授業を行うことで子どもたちのよさを多角的に捉え、一人ひとりが体も心も元気に学校生活を送れるよう指導、支援します。



知

様々な事象に関心を持ち、自分事としてとらえて課題をもち、解決しようと粘り強く取り組む子を育てます。

徳

自分と周りの人の気持ちの違いを理解し、認められる心をもった子を育てます。

体

自分の健康を考えて行動し、心身ともにたくましく生きる子を育てます。

公

学校全体や地域に目を向け、自分の役割を理解して、周りの人と協力して行動する子を育てます。

開

違いを理解し、誰とも分かり合おうとしながら共に生きていく子を育てます。

【4年生として重点をおきたい教育方針】

①自信をもって新しい学習や活動に挑戦し、粘り強く取り組む姿を育てます。

新しい学習や活動に前向きな気持ちでチャレンジし、苦手なことにも諦めず取り組めるようにします。そのために、今まで学んだことや経験したことをもとにして見通しをもたせたり、いろいろな機会を設けたりして経験の幅を広げていきます。また、ふりかえりをするを通して、自分の成長を感じられるようにしていきます。

②一人ひとりの考えを互いに理解し、違いを認め合うことができる姿を育てます。

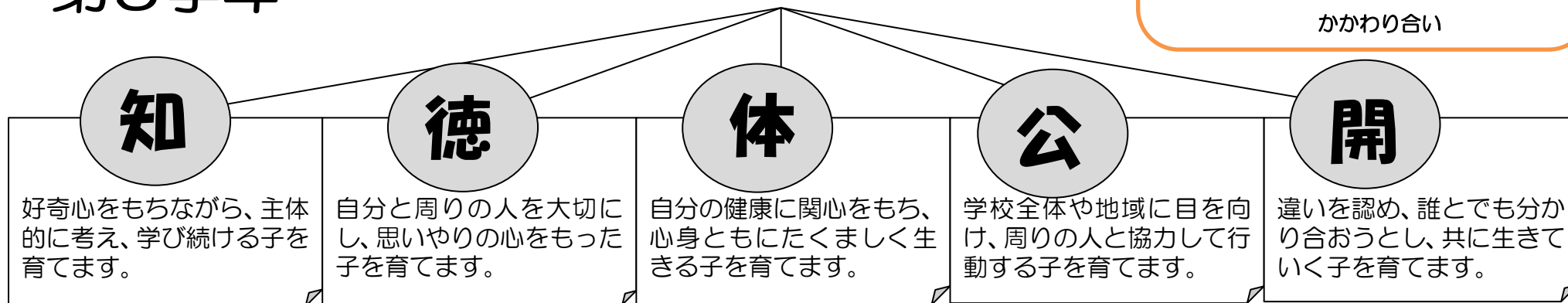
周りの人の話を聞いて自分の考えと比較することによって、新たな気づきや考えが生まれ、視野が広がります。人の話を聞くことを大切にし、よさ目に向けたり、違いを認めたりすることの大切さを価値づけていきます。

③あたり前のことにもきちんと取り組んだり、みんなのために行動したりする姿を育てます。

集団生活では、日ごろの何気ない活動にもきちんと取り組むことで、互いに気持ちよく過ごしていくことができます。何事もおろそかにせず、大切にできる気持ちをもって取り組むよう、日々の活動を大事にしていきます。また、音楽交流会や宿泊体験学習などでは、自分を律して行動することも経験させ、個としての自分、集団の中の自分など、様々な立場で求められる役割をきちんと理解して、責任をもって全うすることができるように指導します。

スターUP☆フレンド

スター・・・輝く、個性、成長
活用、よさを伸ばす
UP・・・レベルアップ
高まり、上達
フレンド・・・友だち、親しみ
かかわり合い



【5年として重点をおきたい教育方針】

① 自分で目標をたて、主体的に解決できるようにしていきます。

日常の授業や行事のめあてを子どもたち自身で考え、意識して取り組むことができるように指導していきます。身に付ける力（なりたい自分の姿）を明確にし、試行錯誤を続けながら活動する中で、自らの課題に気づき、その解決に向かって取り組んでいけるようにします。また、振り返りの時間を大切にすることで今までよりも成長した姿を実感し、成果と課題をもとに、さらに目標に向かって主体的に行動できるようにします。

② 一人ひとりが自分の役割を果たし、個性（互いのよさや違い）を認め合えるようにしていきます。

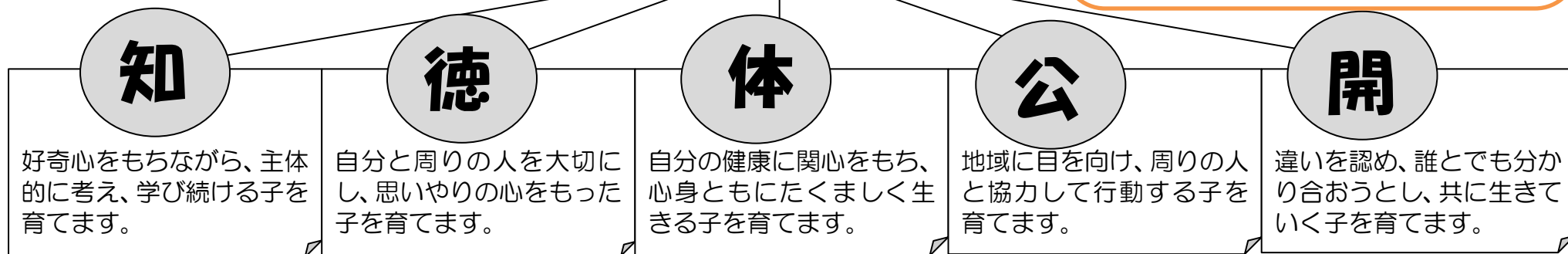
それぞれのよさを発揮していくこと、相手の思いを受け止めること、互いの違いを受け入れて助け合っていくことで、集団として成長できることを感じながら生活していけるように指導・支援します。話し合いの時間を取り入れて「みんなで考えて」取り組むことで、受け入れたり、受け入れられたりする経験を積み重ねて、自分のよさや友達のよさに気付くことができるようにします。また、プロジェクト活動や行事では、一人一役になるように自分の役割を決め、責任をもって活動できるようにします。

③ 高学年としての自覚をもち、的確な行動で集団としての高め合いができるようにしていきます。

高学年として、6年生と協力をして、学校を引っ張っていく経験を積めるようにします。行事だけでなく、委員会活動やたてわり活動、総合の学習などを通して、自分たちが的確に行動する姿が学校全体や下級生によい影響を与えていることに気付くことができるようにします。その気づきによって、互いに高め合える集団づくりをしていきます。

OneRing

最高学年として、小学校生活最後の一年だから・・・一人ひとりが大切にしたいことに、みんなで手を取り合い、心を一つにして取り組んでいく。そしてみんなで協力し、洋一小を一つにまとめていく。その思いが込められています。



【6年として重点をおきたい教育方針】

① 目標に向かって、主体的に解決できるようにしていきます。

日常の授業や行事の目的を共有し、それぞれが自分の目標や課題を意識して取り組むことができるように指導していきます。見通しをもって取り組むことができるよう、目標・課題を明確にし、計画的に活動できるようにしたり、目標達成のためや仕事をやり遂げるためにはどのような方法や行動パターンがあるかを考えたりしていきます。そうすることで、指示を待つのではなく、自分達で判断・行動し、課題を解決できる力を養っていきます。

② 一人ひとりが自分や友達の役割を理解し、責任をもって取り組めるようにしていきます。

行事やさまざまな活動の中で、一人ひとりが役割をもち、責任をもって最後まで活動できるようにします。それぞれの得意なことや一人ひとりの力を発揮していくことで、集団として成長できることを感じながら生活できるように指導します。一人ひとりの頑張りや認め合える時間をつくることで、自分のよさや友達のよさにも気付くことができるようにします。

③ 最高学年としての自覚をもち、集団で高め合えるようにしていきます。

最高学年として、自分達のことだけでなく、様々な学年や地域・保護者など、周りの人達と関わる場面を設定し、いろいろな相手への意識を高め、「みんなのために活動する」大切さやよさを味わえるようにしていきます。行事だけでなく、委員会活動やたてわり活動で日常的に活動していくことで、自分たちの行動が学校全体や下級生によい影響を与えていることに気付くことができるようにします。